



WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために
手をとりあおう

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

よいことのために手をとりあおう

R.I.会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 小林 磨史

2025-26年度 上田ロータリークラブ

- 会長 窪田 秀徳 ●副会長 内河 利夫・飯島 幸宏
- 幹事 湯田 勝己 ●会報委員長 藤森 幸路

第3017回例会 (令和8年3月16日)



ホームページQR

[地区事務所より委嘱状]

◆公共イメージ向上委員会

委員 飯島 幸宏さん



エネルギー価格の上昇は、輸送、製造、建設、農業など、あらゆる産業に影響を及ぼします。ここにおられるロータリアンの多くは、それぞれの分野で地域経済を支えておられる経営者・リーダーであり、今後の動向を大変気にかけておられることと思います。

[会長挨拶]

窪田 秀徳 会長

まずは、3月9日開催のオープン夜間例会に多数ご出席いただきありがとうございます。来月4月より当クラブの会場となる2階の大会議室の会場の視察も兼ねての開催となりました。



このような不透明な時代だからこそ、私たちロータリアンは、地域社会を支える存在として、冷静に状況を見つめ、互いに知恵を出し合いながら歩いていくことが大切だと感じています。

さて、本日の例会は、国際奉仕委員会さんよりの学びの場です。どうぞ宜しくお願いいたします。

世界の出来事は遠い話のようでいて、すぐに必ず地域の暮らしや経済に影響を及ぼします。しかし、こうした時こそ「仲間との絆」が力になります。早い情報を共有し、助け合い、地域の未来を支える。それがロータリーの大切な役割ではないかと思います。

ところで！ここ数日、世界の情勢が大きく揺れ動いております。中東、とりわけイラン情勢の悪化を受け、各国はエネルギー供給の不安に直面しています。日本でも石油の備蓄を放出する方針が示され、民間備蓄15日分に加え、国家備蓄1か月分、約8,000万バレルという過去最大規模の放出が予定されていると報じられています。

本日の例会も、そうした仲間との交流と学びの時間になれば幸いです。

本日もどうぞよろしく宜しくお願いいたします。

その影響もあり、すでにレギュラーガソリンは一気に約30円ほど値上がりしました。さらに灯油や軽油などについては、まだ見通しすら立っていないとも言われています。



[会員卓話]

国際奉仕活動報告 挨拶

◆国際奉仕委員会 委員長

柳澤 雄次郎さん



国際奉仕委員会の活動として窪田年度は次の4つを行います。

①タイペイ(台北)で行われる国際大会のご案内

②キム・セハさんへの支援と交流

③財団・米山への寄付の確認

そして上田ロータリークラブ独自の活動として

④タイ62校の学生、369名への教育・生活支援です。

MANABI外語学院の活動に参加させていただき、タイのワトシンRC会員と協賛して学生支援を行うもので、昨年度は金子会長、酒巻幹事が参加し、直接参加は今期で2年目となります。本年度はMANABI(マナビ)外語学院から横沢さん、藤森さん、上田RCからは旅費自己負担にも関わらず、金子直前会長と小林浩太郎次期幹事夫妻の3名が参加して、会からの支援金3万パーツ約14万円を学生に届けてもらいました。本当にありがとうございました。

本日はタイ訪問の交流について、小林次期幹事に発表してもらおうと思います。それでは小林浩太郎次期幹事、よろしく願いいたします。

[会員卓話]

タイ・ワトシンロータリークラブ
共同支援活動

◆小林 浩太郎さん



3年目を迎えた子供たちへの支援活動

当クラブ独自の国際奉仕活動として、タイのワトシンロータリークラブの協力で行われた教育生活支援が3年目を迎えました。本年度は金子直前会長、横沢さん、藤森さん、小林夫妻の5名で現地を訪問し支援活動に参加いたしました。

円安の影響もありましたが、皆様からの支援金3万パーツを無事に学生たちの元へ届けてまいりましたので、その報告をさせていただきます。

強行軍のスケジュールと現地での「封入作業」

1月26日の例会終了後、その足で羽田へ向かい深夜便でバンコクへ。到着後すぐにMANABI外語学院のバンコク事務所にて、寄付金を小分けにする作業を行いました。

1人あたり500パーツ(約2500円)ずつ、60枚の封筒に500パーツ札を丁寧に封筒に入れていきます。対象となる学生は約369名。私と金子直前会長も、一つずつ心を込めて準備いたしました。



アユタヤでのミニ観光：

象と歴史、そしてワトシンRCでの「学生服」の歓迎

翌日は車で2時間半ほどかけ、チャイナートに向け出発、アユタヤ方面へ移動しました。アユタヤ遺跡では戦火で首を落とされた仏像が並ぶ遺跡や、賢い象との触れ合いを通じてタイの歴史と文化を肌で感じることができました。



夜にはワットシン・ロータリークラブによる心温まる歓迎例会が催されました。驚いたのは、現地のロータリアンの皆さんが「学生服」を着て迎えてくれたことです。

この日は日本人を迎えるためのドレスコードとして「日本の学生服」を選んで着ていただきました。親愛の情による演出だそうです。対する我々日本チームは袴や浴衣姿で参加し、伝統踊りやプレゼント交換を通じて深い親睦を深めました。

贈呈式：お寺に集まった400人の子供たちと先生・

見守る地域のロータリアン達

贈呈式は、地域で最も影響力のある場所である「お寺」で行われました。400人近い児童や生徒・先生そして子供たちを温かい視線で見守る地域のロータリアン達が集まる中、驚いたのは子供たちの身なりです。皆、非常に綺麗な制服を着ていました。しかし聞けば、これは国から年に1着だけ支給される貴重な晴れ着であり、この大切な式典のために袖を通してきてくれたのだそうです。

私自身、日本文化を伝えるべく「侍」の衣装でパフォーマンスを行いました。30度を超える猛暑の中での演武でしたが、初めて見る侍の姿に子供たちが目を輝かせて喜んでくれたことは、忘れられない思い出です。

寄付の重みと、継続する意義

支援金を受け取った学生代表の子が、こうスピーチをしてくれました。

「いただいたお金の半分は貯金し、半分は学用品を買います」

ただお金を渡して終わりではなく、彼らが将来を見据えて大切に使うとしている姿勢に、この活動の真の価値を感じました。バンコクから少し離れると、タイには今なお洪水被害や貧困に苦しむ地域が多く残っています。平坦な地形ゆえに一度水に浸かれば数ヶ月は引かないという過酷な環境下で、彼らは懸命に生きています。

結びに代えて

今回の訪問を通じて、国際奉仕とは「自分たちができることを、継続して行うこと」だと再確認しました。現地の現状をその目を見て、触れ合うことで得られる感動は、何物にも代えがたい財産です。

来年度以降もこの活動を繋げていくべきだと確信しております。会員の皆様も、もしご興味があればぜひ一度現地へ足を運んでみてください。素晴らしい国際交流の場を支えてくださっている全ての皆様に感謝し、報告とさせていただきます。

【国際奉仕事業 タイ・ワトシンロータリークラブ訪問】

<第3012回会報 国際奉仕事業報告「タイ国・ワトシンRCとの共同支援活動」写真も併せてご覧ください>





[幹事報告]

湯田 勝己 幹事

1. 地区事務所

「第4回クラブサポートミーティング」開催のご案内
第2回IFMRジャパン大会青森五所川原開催2026のご案内について

2026-2027年度のための「クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(CLLS)開催のご案内

2. 松本RC

創立70周年記念式典のご案内

3. 信濃毎日新聞

新生上田市誕生20周年広告

[ニコニコBOX]

比田井 美恵 委員

飯島幸宏さん 石井懋人さん 小幡晃大さん 金子良夫さん 窪田秀徳さん 桑澤俊恵さん 桑原茂実さん 小林浩太郎さん 小山宏幸さん 関啓治さん 関勇治さん 滝沢秀一さん 竹田和徳さん 田邊利江子さん 土屋勝浩さん 比田井美恵さん 藤森幸路さん 保科茂久さん 矢島康夫さん 柳澤日出男さん 柳澤雄次郎さん

本日喜投額 21名 ￥ 31,000

累計 ￥1,420,000

[例会の記録]

司会：鈴木 芳朋 会場・出席委員

斉唱：ロータリーソング

●地区事務所より委嘱状伝達

公共イメージ向上委員会 委員 飯島 幸宏さん

●会長挨拶 ●幹事報告

●会員卓話 国際奉仕委員会 委員長

柳澤 雄次郎さん 国際奉仕活動報告 挨拶

●会員卓話 小林 浩太郎さん

タイ・ワトシンロータリークラブ共同支援活動

[ラッキー賞]

田邊利江子さん(柳澤雄次郎さんより とらやの羊羹)

保科 茂久さん(柳澤雄次郎さんより とらやの羊羹)



[出席報告]

鈴木 芳朋 会場・出席委員

	会員数	出席ベース	出席者数	出席免除(b) ()内は出席者数	出席免除(a)	メイクアップ ()内はMake up後	出席率
本日 (3/16)	52	51	37	4(3)			72.55
前々回 (3/2)	52	52	45	4(4)	1(46)		88.46

[次回例会予定]

4月6日(月) 慶祝

会員卓話 小山 宏幸さん「事業承継」

(3月23日発行)

【会報担当】 尾台 修一 会報委員